



きらり沼津。次の100年へ

祝 沼津市制100周年

1923(大正12)年7月に沼津町と楊原村が合併して沼津市となり、この7月に100周年を迎える沼津市。その歴史や文化に触れられる見どころが多くあります。この機会に春の沼津へ遊びに行ってみませんか?



香貫山 桜の見頃 3月下旬~4月上旬

香貫山は沼津駅から南東1km程のところにある小山です。千本松原や大瀬崎などとともに沼津市のシンボルとして市民に親しまれています。春の桜、初夏の紫陽花など、四季折々の草花を楽しめ、展望台からは沼津市街地や駿河湾を一望できます。

沼津市上香貫

昭和の沼津

香貫山から市街地方面(昭和30年代後半)



伊豆・三津シーパラダイス

バンドウイルカを日本で初めて飼育するなど歴史ある水族館。セイウチやアシカ、トドのショーや富士山を眺めながらのイルカショーなどが楽しめます。1930(昭和5)年に開館した中之島水族館が後に三津天然水族館となり、現在の伊豆・三津シーパラダイスになっています。

- 沼津市内浦長浜3-1
- 営業時間はホームページでご確認ください
- 大人(中学生以上)2,200円、4歳~小学生1,100円、65歳以上1,800円
- 055-943-2331

保健施設利用助成券が使えます。入館料が中学生以上1,000円、4歳~小学生100円に!



沼津御用邸記念公園

沼津御用邸は1893(明治26)年、当時皇太子だった大正天皇の静養のために造営されました。1969(昭和44)年の廃止後、「沼津御用邸記念公園」として開園し、国の名勝にも指定されています。

- 沼津市下香貫島郷2802-1
- 9:00~16:30 年末年始
- 入園のみ:大人100円、小・中学生50円、未就学児無料
- 観覧料込(西附属邸の見学含む):大人410円、小・中学生200円、未就学児無料
- 055-931-0005



保健施設利用助成券が使えます。入園料が無料に!



若山牧水記念館

歌人若山牧水の生誕から永眠するまでの足跡を中心に、沼津市にゆかりのある文学者と、その背景となる沼津の文学風土を広く紹介しています。

- 📍 沼津市千本郷林1907-11
- 🕒 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
- 🗓️ 月曜日 (祝日の場合はその翌日)、年末年始
- 🎫 大人200円、小中学生100円
※沼津市内の小中学生は無料。
- ☎️ 055-962-0424



保健施設利用助成券が
使えます。観覧料が無料に!



千本浜海岸

東海道随一の景勝地として知られている千本松原が広がり、夕景は沼津随一と評され「日本の白砂青松100選」に選ばれています。夏は市街地から一番近い海水浴場として多くの人でにぎわいます。

- 📍 沼津市本字千本



昭和
の沼津



昭和30年代前半

沼津市営水族館

千本浜海岸には1950 (昭和25) ~ 1963 (昭和38) 年度まで市営の水族館が開館。駿河湾の魚や深海魚の展示など、年間約5万人が来場し、多くの人に親しまれました。



千本浜海岸 (昭和30年頃)



沼津港大型展望水門「びゅうお」

沼津港に高くそびえる巨大な建造物で、東海地震の津波対策の一環として2004 (平成16) 年に完成した水門です。地上30mのところ展望施設が併設され、富士山や箱根連山、沼津アルプスをはじめ、駿河湾に突き出した大瀬崎を見ることができるなど、360度の大パノラマをお楽しみいただけます。

- 📍 沼津市千本1905-27
- 🕒 10:00~20:00 (木曜日は14:00まで)
- 🗓️ なし (臨時休館あり)
- 🎫 大人100円、小中学生50円
- ☎️ 055-963-3200



保健施設利用助成券が
使えます。入館料が無料に!

芹沢光治良記念館

沼津市我入道に生まれ育ち、名誉市民でもある作家・芹沢光治良の作品や色紙が収蔵された記念館。小説「人間の運命」が日本芸術院賞を受賞し、日本ペンクラブ会長を務めるなど、昭和の文壇で活躍しました。

- 📍 沼津市我入道蔓陀ヶ原517-1
- 🕒 9:00~16:30 (入館は16:00まで)
- 🗓️ 月曜日 (祝日の場合はその翌日)、
祝日の翌日 (土・日・祝日を除く)、年末年始
- 🎫 大人(高校生以上)100円、小人50円
※沼津市内の小中学生は無料。
- ☎️ 055-932-0255

保健施設利用助成券が
使えます。観覧料が無料に!

